

## 野木町総合サポートセンター 「多目的室1・2」

野木町総合サポートセンターは、健康や福祉、子育てに関する総合相談窓口であり、皆様の生活の中の困りごとを解決に向けて一緒に考えていくための施設です。

### 「多目的室1」

「多目的室1」は、総合サポートセンターで一番大きな部屋で、体操教室や講座などを行います。体操では15名ほど、講座では30名ほどが入ることの出来るスペースがございます。今後も、町民の皆様のために活用していきたいと思っております。

### 「多目的室2」(ひまわりカフェ)

「多目的室2」では、町民の皆様がお茶やコーヒーなどを飲みながら気軽に話ができる憩いの場となるように「ひまわりカフェ」を開催いたします。多くの町民の皆様にご利用いただければと思います。また、来年度は認知症カフェなども開催を予定しております。



「多目的室1」で開催した講座の様子



野木町総合サポートセンターひまわり館 ☎(33) 6878

## 広報連絡委員レポート No.394

### 日本の伝統行事 「どんど焼き」

広報連絡委員  
小関 良枝



年が明けた平成31年1月12日、新橋分館恒例行事の「どんど焼き」が、新橋小学校の校庭で行われました。分館行事として30年以上続いている「どんど焼き」ですが、今年には「子供お楽しみ会&どんど焼き」となり、体育館に於ては、子供を対象にしたゲームや景品の当たる抽選会も行われました。

9時半頃から小さな子どもの手を引いた家族や正月飾りを手にした地域の人たちが集まり始め、11時の点火を待ちました。

すでに井桁に組まれた櫓が地元の協力者の手で準備され、次々と正月飾りやお札等が入れられていきました。櫓の周りでは地域の人たちが新年の挨拶を交わしたり、談笑したりしている姿が目立ちました。11時の点火には、区の役員さんに混じって3人の小学生児童も加わり、分館役員の「点

火」の合図で、一斉に櫓の四方八方に火がつけられ、瞬間に燃え上がる光景に拍手や歓声も上がりました。火の勢いが弱まり炭火で焼いた餅を「無病息災」を願いながらいただきました。

「どんど焼き」という言葉を耳にすることも少なく、まして実際にやっている所はほとんどなくなっていると思われる日本古来の行事がここの野木町の一画で行われていることは本当に素晴らしいと思います。そして、このような機会に参加できた子どもたちは幸せだと思います。「どんど焼き」がこれからも続くことを願っています。

